

令和6年度 学校評価表

学校経営目標	子ども達がわくわく 教職員が働きがいのある学校
学校教育目標	笑顔生み出す児童の育成
めざす子供像	挑戦する子供・体験をもとに気づく子供・対話を通じて考える子供

目標		実践		評価		
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目（評価方法）	目標値		
				中間	最終	
確かな学力（知）	○確かな学力を身につけ、主体的に学び合う児童の育成	【1】 ・単元を通したリーダー学習と協調学習を通して、主体的に学び、対話を通じて自分の考えを深めることができる。	・協調学習を取り入れた授業を実施する。 ・単元計画表を児童と共有したリーダー学習と自己選択のある学習を実施する。	・全学級、年間3回以上実施する。 ・国語科、算数科、理科、社会科の学期末テストの結果が標準得点以上の児童の割合	60%	100%
豊かな心（徳）	○自他を尊重し、豊かな感性と道徳性を備えた児童の育成	【2】 ・多様な他者との交流・体験活動を通して、気づきをもち、考え、次の活動へつなげることができる。	・体験活動を行う中で、「特別の教科 道徳」で考えたことと普段の生活を関連させながら、自分で気づき考え、行動できるようにしていく。	・児童が行う生活・学習アンケートにおいて、多様な体験活動を通して、気づき、考えたことを生かしていると回答した児童の割合	70%	90%
健やかな体（体）	○基本的な生活習慣や、健康でたくましい体力・気力・耐力を備えた児童の育成	【3】 ・体力づくりを通して、憧れと挑戦、自分への期待をもつことができる。 ・食育を通して、自ら食力を育てることができる。 ・三点固定の取組を通して、自らよりよい生活習慣をつくることできる。	・1学期は走に関する取り組みを全校や学級または体力朝会において継続的に行う。2学期以降は、マラソン大会や陸上記録会に加え、走に関する取り組みや掲示を行い、走ることに對しての意欲を持ち、記録を伸ばすことができるような取り組みを行う。	・新体力テストにおいて、50m走のタイムが昨年度の記録を超える割合。11月は6月の記録を超える割合。	70%	80%
			・栄養管理と並行して児童の食べられる量を見取った給食を提供し、好き嫌いなく食べられるよう声掛けをする。地産地消や行事食にかかわる献立を作成し、児童に実際に食べながら学習できる機会を作る。	・児童アンケート「健康にすこすために、給食でいろいろな食べ物を残さずに食べています」肯定的評価の割合 ・地産地消や行事食にかかわる給食を月1回以上提供する。	70%	90%
			・児童がよりよい生活に気づき、自らの生活に生かしていくために、家庭と連携しながら、生活を記録する取組や、「3こて週間」の取組を行う。	・児童アンケートにおいて、「3点固定」ができている児童の割合	80%	95%
信頼される学校	○教職員が協働し、地域・保護者と連携し、信頼され開かれた学校づくりの推進	【4】 ・地域・保護者に授業などの教育活動を開き、対話を通して協働関係を構築する。 ・働き方改革（業務改善＋児童と向き合う時間の確保）により、自分なりのやりがいをもつ。	・保護者・地域の方においていただく機会を活用して、次のことに取り組む。 ①学校の教育活動について理解を深めていただけるよう、協調学習やリーダー学習、総合的な学習の時間をはじめ、様々な教科や学習内容を公開する。 ②参加者が児童と一緒に授業に参加できる場を設定し、双方向の学習となるよう内容の工夫を図る。 ③学級懇談等で授業をもとに対話を行い、協働的な体制を構築する。	・協調学習やリーダー学習等を取り入れたり、児童と参加者が双方向で関わったりするような学習に視点をあてた授業を各学年2回以上実施する。 ・「学校行事や授業参観を通して子供たちの学びの様子がよく分かる。」という保護者アンケートの項目での肯定的評価の割合	70%	90%
			・校内委員会を計画的に実施し、部会や担当を中心として組織的に取り組む校内体制の充実を図ることで働き方改革を推進する。	・時間外勤務が月45時間を超えない教職員の割合 ・子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合 ・日々の業務の中で充実感を得られている教職員の割合	75%	80%
					65%	85%
					75%	85%